



再生医療JAPANスポンサーセミナー

実験動物代替への挑戦

Challenges to Substitute Experimental Animals



臓器チップ、スフェロイド、及びオルガノイドを用いた実験動物代替技術の開発が精力的に行われている。株式会社ニコンでは、これら新しい評価ツールの高精細な観察や画像解析による定量化で実験動物代替を目指している。本セミナーでは成育医療センター阿久津先生が開発した小腸機能性評価に活用可能なミニ腸の技術紹介と株式会社ニコンが着手した臓器チップ撮像・解析サービスの紹介を行う。

日時

2022年10月12日（水） 11:00 – 12:00

会場

パシフィコ横浜 F201-202会場

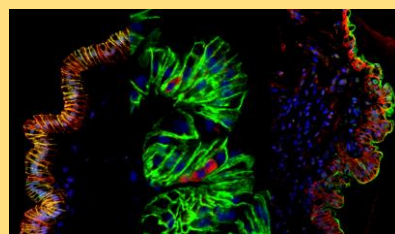
「小腸機能性評価に活用する 新たなモダリティとしての“ミニ腸”開発」

Recent advances in the functional applications of human intestinal organoids
“Mini-gut” as a new modality for drug development



阿久津 英憲 先生

国立成育医療研究センター研究所
再生医療センター生殖医療研究部 部長



「株式会社ニコンが展開する創薬支援ビジネス」

Drug discovery support business developed by Nikon Corporation



清田 泰次郎

株式会社ニコン ヘルスケア事業部
ステムセル事業推進部長



<参加方法>

再生医療JAPANの事前来場登録と聴講申込が必要です。
来場登録は[こちら](#) 聴講登録は[こちら](#)

<セミナーに関する問い合わせについて>

株式会社 **ニコン ソリューションズ**

バイオサイエンス営業本部 創薬研究支援部
E-mail: Nsl-bio.Marketing@nikon.com

<展示ブース>

R-34

ご来場お待ちしております！